

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

	<p><b>【施設名称】</b> 高品質堆肥製造施設（通称「あくりパワーアップセンター」）</p>
	<p><b>【事業主体】</b> 池田町、NPO法人環境Uフレンズ</p>
	<p><b>【所在地】</b> 福井県池田町</p>
	<p><b>【運転開始年】</b> 平成 14 年（2002 年）</p>
原材料および利用量	生ゴミ(89t/年)、牛ふん(584t/年)、もみ殻(28t/年)、米ぬか
生産物(種類)	たい肥「土根壤」、液肥「土根壤の汗」、有機培養土「ゆうきの土」
利用方法	散布・販売
導入目的・経緯	各家庭で家庭生ゴミを水切り・分別し、町民ボランティアグループ「環境Uフレンズ」が回収し、町農林公社運営の堆肥センターで高品質堆肥などを生産(287t/年) 完成堆肥は、町が地域ブランド化のために農産物栽培基準を定めた「池田町ゆうき・げんき正直農業」の中での土づくりに活用され、安全な農産物づくり・町営農産物直売所における販売へと発展
設備仕様	
稼働状況	
経済性関連データ	平成 13・14 年度経営構造対策事業 総事業費 23,000 千円 国庫補助 115,000 千円
導入効果	本施設の導入により、町民全員が土作りの大切さや人・環境に優しい農産物作りへの意識が広まり、ゆうき・げんき・正直農業の取組農家が増加。同時に生産された農産物は福井市内のテナントショップで販売され、「安全・安心」と消費者から多くの指示を得、農家の生産意欲が増加 また、堆肥は農地へ散布されたり、「土根壤」として販売されるようになり、「地域資源連結循環型農村」の実現に進捗
運営上の課題	食品資源の回収は町内の 3～4 割にとどまっているため、今後 7～8 割まで回収率を引き上げ、堆肥製造量を増加
備考・参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人環境Uフレンズ：H18 年度バイオマス活用協議会会長賞</li> <li>・平成 17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例集</li> <li>・バイオマス情報ヘッドクォーター</li> </ul>